



青年部仙南支部・酪青研仙南地方連盟交流ボウリング大会

CONTENTS

青年部仙南支部・酪青研仙南地方連盟 交流ボウリング大会について	1
加美支部・遠田支部合同交流会 (ボウリング大会)開催について	1
豊里支部・石巻支部合同研修会開催について	2
登米支部研修会開催について	2
婦人部栗原支部研修会開催について	3
みやぎの酪農協婦人部 仙台支部交流会開催について	3
畜舎環境美化コンクール審査会について	4

青年部3支部(登米支部・本吉支部・石巻支部) 合同交流会開催について	8
酪農研修会開催について	8
酪農フレンズパーティー開催について	8
飼料情勢	9
酪農動向調査	10
人事のお知らせ	10
理事会通信	10
お詫びと訂正について	10
令和6年度 生乳生産実績	11
編集後記	11

青年部仙南支部・酪青研仙南地方連盟 交流ボウリング大会について

仙南支所

青年部仙南支部と酪青研仙南地方連盟共催の第20回交流ボウリング大会を2月11日(土)に大河原町「ボウルジャンボフォルテ」にて盛大に開催しました。

新型コロナウイルスの影響で一時中止されていた大会ですが、久々に開催されることとなり、参加者たちは久しぶりの交流の場を心から楽しみました。

今年の大会は、大人から子どもまで家族ぐるみでの参加で過去最多の51名となり、会場内は歓声や拍手、笑い声で賑わいました。ボウリングのプレーを通じて、参加者同士の絆を深めることができました。

来年度も、さらに多くの皆様が参加し、地域の絆を深める素晴らしい交流の場となることを願っています。



加美支部・遠田支部合同交流会（ボウリング大会） 開催について

生産支援課

大崎市の「ファンキーボウル」を会場に加美支部と遠田支部の合同ボウリング大会を2月12日(水)に開催しました。昨年までは、別々にボウリング大会を開催しておりましたが、年々参加者が少なくなり、ボウリング大会の開催が難しくなってきた経緯から、今回合同で開催することになりました。

初めて顔を合わせる組合員の方も多くおりましたが、ゲームが始まりストライクやスペアが出たときには、会場は大歓声が上がリ、皆さんボウリングを楽しんでいました。参加した組合員からは、来年度も合同での開催を望む声が多くありました。

ボウリング大会終了後、昼食を取りながら情報交換などの交流を図り、親睦を深めることができました。



豊里支部・石巻支部合同研修会開催について

生産支援課

豊里支部と石巻支部で、2月7日(金)登米市豊里町の「JAみやぎ登米 南部豊里店」にて、「チェックシートの記帳について」をテーマに合同研修会を開催しました。

村田販売係長を講師に、チェックシートが始まった経緯やページごとの記載方法などについて説明し、参加者は説明を聞きながら持参したチェックシートを熱心に確認していました。また、参加者同士でチェックシートの記帳内容を確認することで、お互いに勉強になり、有意義な時間を過ごすことができました。



登米支部研修会開催について

登米事業所

登米支部では組合員とその家族9名参加のもと、登米市の割烹若鮎にて、伊藤組合長をお招きし、「酪農情勢」をテーマに研修会を開催しました。

伊藤組合長からは、「一昨年から取引乳価の値上げがあったが、副産物価格の下落、初妊牛価格の高騰、輸入飼料価格の高止まりにより依然として酪農経営は厳しい状況である。このような情勢を踏まえ、国、県、各市町村へ支援要請をした。県は、乳牛2歳以上3千円/頭、1歳以上～2歳未満は750円/頭の支援を行う光熱動力費高騰対策事業と配合飼料価格高騰対策として生産資材価格高騰対策事業の支援がある」などの現状報告や次年度の組合方針等のお話がありました。

その後、懇親会を開催し、海鮮料理と仙台牛を堪能しながら、組合員相互の交流を図り、有意義な時間となりました。



婦人部栗原支部研修会開催について

生産支援課

婦人部栗原支部では、焼菓子と料理の店「てから」代表の高橋氏を講師に招き、グラタンパン作りに挑戦しました。

グラタンパンの生地を作る際には、皆さん生地が手にくっついて苦戦しながらも、講師のアドバイスを受けながら、綺麗な生地に仕上がりました。また、具材はレンコン、ホウレンソウ、じゃがいも、ウインナーなど色々な種類が用意され、自分好みにトッピングして個性溢れるグラタンパンが出来上がりました。

焼きあがったグラタンパンを見て「最初は不安だったけど、ちゃんと美味しそうに焼けてよかった」「また違ったパンを作りたい」といった声があがり、終始和気あいあいとした雰囲気の中で、笑顔溢れる研修会となりました。



みやぎの酪農協婦人部 仙台支部交流会開催について

仙南支所

婦人部仙台支部では「海辺の天然温泉わたり温泉鳥の海」を会場として、1月16日(木)に交流会を開催しました。

今後、支部再編を予定しており、当婦人部での活動が最後になるため旧部員の方々にも参加を呼びかけました。長年一緒に活動してきた仲間と心ゆくまで語り合い、これまでの活動を振り返る機会となり、改めて感謝の思いを伝えられる場となりました。部員からは再会でき、懐かしさも感じられ、これからもこのつながりを大切にしたいと語っていました。



畜舎環境美化コンクール審査会について

生産支援課

畜舎環境美化コンクールは、畜産物の消費拡大の推進と酪農現場の環境保全意識向上を図るとともに、経営の安定的発展を目的に毎年開催しております。

審査の結果、最優秀賞には婦人部栗原支部の鈴木咲子さんが選ばれました。おめでとうございます。

審査員の方々からは、どの作品も牛舎周りが色とりどりの花々で綺麗に整えられていて選ぶのを迷いましたとの声がありました。

なお、令和7年度も引き続き婦人部の皆様にご協力をいただき、5月下旬から6月上旬頃に組合員全戸へ花苗を配布し、畜舎環境美化運動及び畜舎環境美化コンクールを実施する予定ですので、婦人部の皆様ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

令和6年度

畜舎環境美化コンクール 入賞作品発表

最優秀賞

栗原支部

鈴木咲子さん

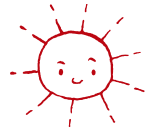


畜舎環境美化コンクール 入賞作品発表

優秀賞

大崎支部

我妻良子さん



優秀賞

石巻支部

伊藤生子さん





優良賞

仙台支部

佐藤裕子さん



優良賞

仙南支部

佐久間幸枝さん



優良賞

石巻支部

浅野真由美さん



畜舎環境美化コンクール 入賞作品発表

優良賞

仙南支部

阿部由紀子さん



優良賞

仙南支部

木村せい子さん



努力賞

登米支部

木村邦子さん



努力賞

大崎支部

佐々木博子さん



青年部 3 支部（登米支部・本吉支部・石巻支部） 合同交流会開催について

登米事業所

令和7年度に3支部合併を予定していることから、1月15日(水)登米市の「麺や文左」を会場に、青年部3支部12名の参加のもと合同交流会を開催しました。合併後は総勢26名の青年部支部となります。

交流会では、初対面の方が多々おり初めは緊張した面持ちでしたが、時がたつにつれ周りとも話が弾み、笑顔が見られ日常生活や酪農経営に関する話題で盛り上がり、互いに交流を図ることができました。



酪農研修会開催について

生産支援課

自給飼料生産について生産現場の環境の変化や円安による輸入粗飼料価格の高止まりが続いていることから、良質な自給粗飼料の増産と確保を目的に、2月26日(水)仙南支所(参加組合員11名)、2月27日(木)本所(参加組合員13名)において、(株)ワコー農材九州事業部の三宅智野氏を講師に「肥培管理講習会」についての酪農研修会を開催しました。

基本的な原料のN（窒素）・P（リン酸）・K（カリ）毎の過剰や不足障害、原料情勢、土壌のPH（酸性アルカリ性の判断）とEC（土壌の水溶性塩類総量）による簡易診断、数例の土壌分析結果をもとにした施肥設計、また、近年の猛暑による夏枯れ対策に役立つ資材の紹介や使用方法について説明され、参加された組合員の皆さんは真剣に聴講されていました。



酪農フレンズパーティー開催について

生産支援課

今年で第16回目となる酪農フレンズパーティーを2月15日(土)に仙台市「D U C C A」で開催しました。今回4年ぶりの開催となる酪農フレンズパーティーは、組合員の後継者等の独身男性と一般女性との交流の場を広げる目的で行っており、今回は男性13名、女性8名が参加されました。

司会進行は、漫才芸人の「ニードル」が務め、会場内は終始笑いが絶えず賑やかな雰囲気の中で行われました。参加者は限られた時間の中で、自己紹介タイムやNASAゲーム、ウミガメのスープなどのゲームを通し、お互いの交流を深めていました。

現在、酪農家にとって大変厳しい酪農情勢ですが、酪農後継者が酪農を続けていくためにも素晴らしいパートナーと出逢い、励みとなる明るい将来を育んでいけるよう願っています。



北米コンテナ船情勢

北米西海岸航路は乗継航路を含めて、主要な本船スケジュールの乱れが続いております。中国の旧正月が終了し物流の回復はみられるものの、日本のゴールデンウィークに向けた船積みが始まっており更なる混雑を引き起こす可能性があります。

さらに、トランプ大統領就任に伴い、複数の関税措置を表明し3月には追加関税の意向を示しています。この方針は世界全体の貿易関係に悪影響を及ぼし、さらに遅延を引き起こす発生可能性があり、注視が必要です。

輸入粗飼料

①ビートパルプ

主産地のノースダコタ州、ミネソタ州では2024 - 2025年産の生産、製糖作業が終盤を迎え、出荷準備が進んでおります。他の産地では5月下旬まで収穫や製糖作業が行われる見通しです。

②アルファルファ

2024年生産量は前年比、オレゴン産97%ワシントン産78%と減少しました。米国内向けの需要低迷と輸出向け市場の低迷が減少理由となっております。生産農家は安定的な収益を求めるために高収益な作物にシフトしております。

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは1番刈りの収穫作業が開始されています。

③チモシー

(US産)

産地では国内外からの馬糧向けやペット向けの需要が好調で価格が安定し在庫はすべて売約済となっております。2025年産は価格と需要が安定していることから作付面積を拡大し供給増加に対応しようとする傾向が見られます。

(カナダ産)

主産地アルバータ州中部クレモナ地区、南部レスブリッジ地区では2月に氷点下10℃から20℃の日が続き、3月になっても続く予報となっております。この影響から生産や生育が遅れる可能性があります。2025年産の作付面積は昨年並みの見通しとなっております。

④豪州産オーツヘイ

2024年産のオーツヘイは、総じて中級品の発生が多くなり上級品および低級品の発生は限定的でした。

南豪州、東豪州では1月から2月にかけて降水量は少なく、西豪州では適度な降雨があり比較的良好な条件でした。3月から5月にかけて豪州全域で例年並みの降水量が予想され生育にとって安定した気候が期待されております。

⑤クレイングラス

灌漑局の発表による作付面積は22,768エーカーとなり前年より増加しております。韓国向け需要が好調であることが原因で、この好調が続けば2025年産の作付面積や相場にも影響がでる可能性があります。

酪農動向調査

生産支援課

令和7年2月1日現在の当組合出荷戸数は181戸、飼養頭数は8,738頭となっております。育成牛(18ヶ月齢未満)については189頭の減少でした。

育成牛の減少は、各種補助事業の活用による和牛授精卵移植等への選択率上昇が要因の1つと考えられ、今後更なる生乳生産基盤の弱体化が懸念されることから、後継牛の確保が必要と思われます。

宮城県酪農動向一覧

【前年同月比】

(単位:戸・頭)

組合名	令和7年2月1日						令和6年2月1日						比較増減					
	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未経産牛		出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未経産牛		出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未経産牛	
			搾乳	乾乳	18ヶ月以上	18ヶ月未満			搾乳	乾乳	18ヶ月以上	18ヶ月未満			搾乳	乾乳	18ヶ月以上	18ヶ月未満
みやぎの酪農	181	8,738	5,376	736	1,057	1,569	197	9,357	5,894	719	986	1,758	-16	-619	-518	17	71	-189
全農宮城県本部	46	2,165	1,412	161	323	269	50	2,334	1,509	157	306	362	-4	-169	-97	4	17	-93
宮城酪農	83	3,709	2,341	325	323	720	89	3,931	2,479	318	392	742	-6	-222	-138	7	-69	-22
宮城県	310	14,612	9,129	1,222	1,703	2,558	336	15,622	9,882	1,194	1,684	2,862	-26	-1010	-753	28	19	-304

人事のお知らせ

総務課

区分	氏名	新職	旧職	発令日
正職員	小高 由枝	生産支援課指導係	生産支援課生乳共販係 兼販売係	令和7年3月1日

理事会通信

総務課

【第9回理事会】

開催日 令和7年1月31日

付議事項 第1号議案 総務委員会および業務委員会からの答申について
(令和7年度事業計画骨子(案)について)

第2号議案 職員給与規程の一部変更について

第3号議案 業務用パソコンのリース契約の更新について

【第10回理事会】

開催日 令和7年2月28日

付議事項 第1号議案 令和6年度決算推定(収支見込)について

第2号議案 役員賠償責任保険への加入(更新)について

お詫びと訂正について

生産支援課

みやぎのだより144号において、記載内容に一部誤りがありました。
深くお詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正させていただきます。

訂正内容

表紙の右下の写真：(誤)登米婦人部研修会 → (正)本吉婦人部研修会

令和6年度生乳生産実績

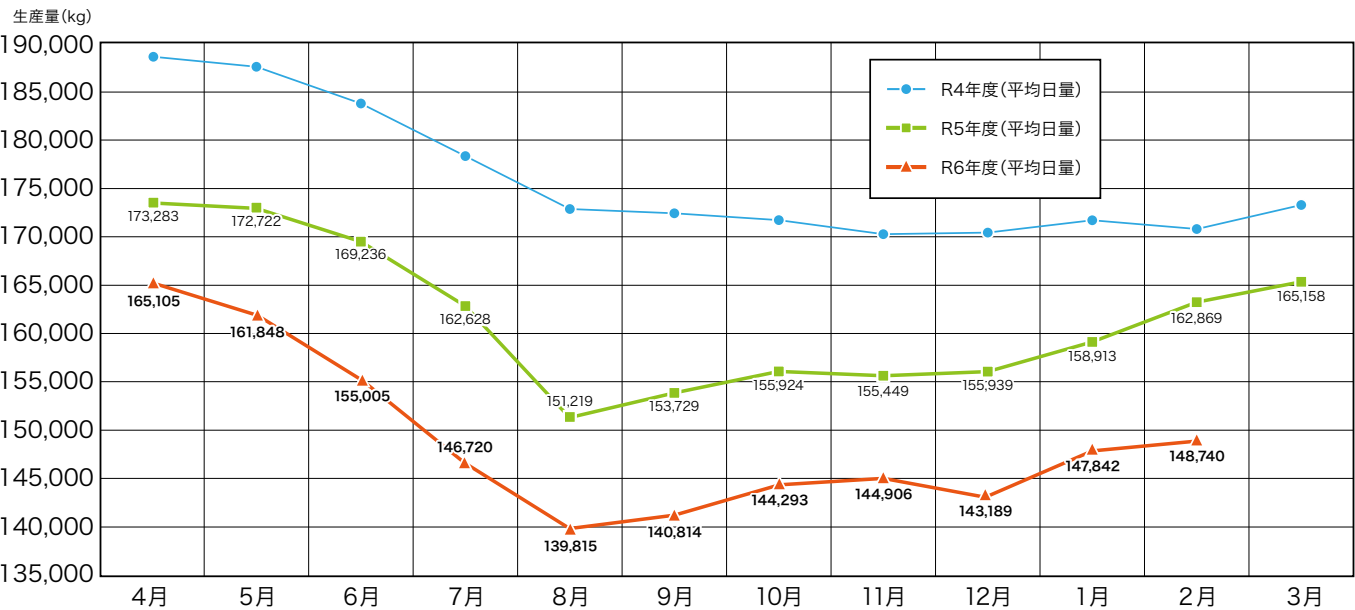
生産支援課

令和6年度生乳生産実績(4月～2月 標準進度率91.51%)

(単位:戸、kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進度率
白石・七ヶ宿支部	21	7,728,459.2	7,703,936.7	100.32	8,292,152.0	93.20
蔵王支部	19	6,631,789.0	7,043,400.0	94.16	7,339,209.0	90.36
柴田支部	10	3,222,479.0	3,473,588.0	92.77	3,686,166.0	87.42
伊具支部	13	3,408,547.5	3,433,571.4	99.27	3,646,574.0	93.47
仙台支部	14	3,343,075.0	3,687,058.4	90.67	3,823,181.0	87.44
大崎支部	16	2,765,318.0	2,801,780.0	98.70	3,001,035.0	92.15
遠田支部	11	5,520,054.0	8,098,856.0	68.16	8,563,331.0	64.46
加美支部	6	1,356,631.0	1,452,006.0	93.43	1,483,483.0	91.45
鳴子支部	6	1,395,398.0	1,416,122.0	98.54	1,474,616.0	94.63
栗原支部	24	4,958,256.0	5,041,056.0	98.36	5,428,186.0	91.34
登米支部	20	6,091,257.0	6,101,976.0	99.82	6,571,317.0	92.69
本吉支部	9	1,071,546.0	1,062,196.0	100.88	1,146,821.0	93.44
石巻支部	3	306,588.0	387,373.0	79.15	418,908.0	73.19
豊里支部	9	2,083,901.0	2,248,863.0	92.66	2,425,021.0	85.93
合 計	181	49,883,298.7	53,951,782.5	92.46	57,300,000.0	87.06

みやぎの酪農乳量(平均日量)



[編集後記]

春の訪れを告げる花として、多くの人に親しまれているタンポポ。子供の頃タンポポの綿毛を吹いて遊んでいたことを思い出します。タンポポをよく見ると葉のまわりに、ギザギザ深い切れ込みがあり、このギザギザの様子から皆さんは何を連想されますか。タンポポの英名 dandelion はライオンの歯という意味で、このギザギザがライオンの歯に似ていることからきているようです。日本語の名の由来は、諸説ありますが花のカタチが、太鼓に似ていることから太鼓を叩く「ポンポン」という音から派生し「たんぽぽ」とよばれるようになったといわれています。春から初夏にかけて、道端や家々の庭の片隅で春の訪れを演出する様々な雑草たちに目を向けてはいかがでしょうか。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL. (0229) 34-2311 (代表)

.....